



GeneXus Server17

インストールガイド

2021 年 4 月

GeneXus Japan Inc.

Copyright © 2021 GeneXus Japan Inc. All rights reserved.

本書には正確な情報を記載するように努めました。ただし、誤植や制作上の誤記がないことを保証するものではありません。なお、本書に記載されている画面はソフトウェアの更新などにより予告なく変更される場合があります。ご了承ください。

本書に記載のその他の製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。GeneXus Japan Inc. は他社製品の性能または使用につきましては一切の責任を負いません。

ジェネクス・ジャパン株式会社

〒141-0031 東京都品川区西五反田 2 丁目 27 番 3 号

<http://www.genexus.jp>

目次

はじめに.....	5
GeneXus Server のバージョンの考え方	5
インスタンスについて	6
GeneXus と GeneXus Server の互換性.....	6
GeneXus Server17 のライセンスの考え方	7
ライセンスの互換性	7
GeneXus Server のセキュリティ.....	8
ご利用局面ごとの手順概要.....	9
1. GeneXus Server の新規利用	10
1.1 システム要件の確認	10
1.2 GeneXus Japan Web ページから、GeneXus Server をダウンロードします。	10
1.3 GeneXus Server のインストール	10
1.4 GeneXus Serever ライセンスの取得（請求と取込み）	10
2. GeneXus Server 複数インスタンスのインストール（マルチインスタンスの設定）	12
2.1 GeneXus Server の追加インストール.....	12
3. GeneXus Server のアップグレード	13
GeneXus Server のアップグレード（旧 Major、Minor からのバージョンアップ）	13
GeneXus Server のアップグレード（Upgrade バージョンアップ）	13
GeneXus Server のアップグレードに伴う、ナレッジベースのマイグレーション	13
4. ライセンスのアップグレード	14
4.1 通常アップグレード	14
4.2 緊急ライセンスを伴うアップグレード	15
5. ライセンスの継続.....	18
5.1 継続ライセンスの取得（請求と取込み）	18
6. マシンの変更によるライセンスの移行	20
6.1 移行先マシンのセットアップ	20
6.2 アンインストールのエビデンスの取得	20
7. ライセンスのトラブルシューティング	22
7.1 ライセンス停止のエビデンスの取得	22
7.2 ライセンスの再請求か緊急ライセンスかの選択	23

7.3 ライセンスの請求	23
7.4 再発行ライセンスの取込み	24
操作詳細	25
A) GeneXus Server のインストール	26
B) GeneXus Server へのログイン	30
C) 請求ファイルの作成	31
D) ライセンス取込み	33
E) ライセンスのアンインストール	36

はじめに

本書は、GeneXus Server をご利用いただくためのガイドブックです。

- 「はじめに」 セクションでは、GeneXus Server を使用する上で重要な内容を紹介します。
- 「ご利用局面ごとの手順概要」 セクションでは、各種利用局面ごとの手順を説明します。
- 「操作詳細」 セクションでは、各種利用局面における操作を説明します。

GeneXus Server のバージョンの考え方

GeneXus Server は、GeneXus と同じタイミングでアップグレードし、フォルダ構成なども GeneXus に準じて Major、Minor バージョンごとに別のフォルダにインストールされます。

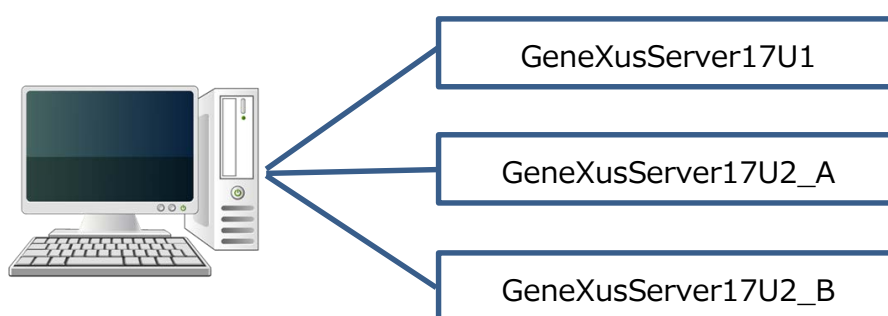
Major	Minor	Upgrade
-GX9		
GX X	Ev0	U0-U4
	Ev1	U0-U8
	Ev2	U0-U7
	Ev3	U0-U15
GX15		U0-U12
GX16		U0-U11
GX17		U2 (2021/04 現在)

インスタンスについて

GeneXus Server を新規にインストールするとインストールフォルダが作成され、IIS に Web サービスとして登録されます。GeneXus Server のインストールフォルダと Web サービスをまとめて「**インスタンス**」と呼称します。新規インストールの回数だけインストールフォルダが作成され、Web サービスとして登録されますので、新規インストールを 2 回行くと、インスタンスの数は 2 となります。

同じ Upgrade バージョンを別インスタンスとしてインストールすることもできます。

下図例では、インスタンスの総数は 3 で、GeneXus Server 17U2 をインスタンス A、インスタンス B として個別にインストールしています。



GeneXus Server の新規インストール、更新、アンインストールといった操作はインスタンス毎に行います。複数のインスタンスを対象にこれらの操作をまとめて行うことはできません。

GeneXus と GeneXus Server の互換性

GeneXus Server は GeneXus に対して下位互換があります。つまり、下位バージョンの GeneXus と上位バージョンの GeneXus Server を組み合わせて使用することができます。（例：GeneXus17U1 と GeneXus Server17U2 など）ただし、基本的に Genexus と GeneXus Server のバージョンは一致していることが推奨されます※。そのため、複数の Genexus のバージョンで開発を行う場合、それぞれの GeneXus のバージョンに応じた GeneXus Server をインストールしてください。

※例えば、GeneXus17U1 と U2 で開発を行っており、U1 には WorkWithPlus13 を、U2 には WorkWithPlus14 を適用して開発しているとします。このような場合、GeneXus Server にも WorkWithPlus をインストールする必要がありますが、WorkWithPlus は 1 つのインスタンスに 1 つのバージョンしかインストールできません。つまり、1 つのインスタンスに WorkWithPlus13 か 14 のどちらかしかインストールできません。

GeneXus Server17 のライセンスの考え方

- GeneXus Server のライセンスは、GeneXus のライセンスマネージャーに表示されるのではなく、GeneXus Server の Web コンソールという管理ツールを使って管理（ライセンスの新規請求、更新など）します。GeneXus Server の Web コンソールは Web のアプリケーションなので、アクセスするクライアント端末に、GeneXus Server のライセンスは不要です。
- GeneXus Server のライセンスは、GeneXus Server をインストールしたサーバーマシンにライセンスをインストールする（取り込む）ローカルライセンスです。
- GeneXus Server のライセンスはインスタンスが保持するのではなく、端末のレジストリが保持します。そのため、インスタンスをアンインストールしてもライセンスは残ります。また、端末に複数の GeneXus Server16 インスタンスがインストールされている場合、1 つのライセンスを複数のインスタンスで共有することができます。（ライセンスの下位互換については後述）

ライセンスの互換性

GeneXus Server のライセンスには下位互換があります。しかし、GeneXus Server17 ライセンスの下位互換で使用できるバージョンは GeneXus Server16 と 15 のみです。GeneXus Server17～15 のライセンスには GeneXus Server X EV0～EV3 に対して下位互換がありません。そのため、GeneXus Server X EV0～EV3 を使用する場合、別途ライセンスが必要です。（このライセンスに追加費用はかかりません）

下記はバージョンの異なる GeneXus Server を複数使用する例です。

グループ	インスタンスのバージョン	ライセンス	インストール先
A	17U2	互換性により共有	同じマシン※
	16U11		
	15U12		
B	EV3U15	互換性により共有	同じマシン※
	EV2U7		

※重要

GeneXus Server15 までは上記のグループ A とグループ B のインストール先マシンは同じにする必要がありましたが、GeneXus Server16 からは別々のマシンにインストールできます。

GeneXus Server のセキュリティ

GeneXus Server X EV3 以下のバージョンでは、インストールの際、セキュリティの方式が選択できましたが、GeneXus Server15 から、セキュリティの高い方式がデフォルトになりました。セキュリティの高い管理方式とは、「GeneXus Server コンソール」が SSL を使った通信を行い、許可されたユーザーだけが、GeneXus Server の Web コンソールを利用したり、GeneXus Server を使った開発ができるようにすることです。

[GeneXus Server 15 リリースノート](#)の「互換性」を参照してください。

ご利用局面ごとの手順概要

1. GeneXus Server の新規利用

このセクションでは、GeneXus Server を新規にご利用される場合の手順について説明します。

1.1 システム要件の確認

- GeneXus Server をインストールするマシンのハードウェア要件とソフトウェア要件
- 「GeneXus Server の Web コンソール」を利用する場合のクライアント側のシステム要件
- チーム開発で GeneXus Server の機能を利用する場合のクライアント側のシステム要件

Wiki を参照して、各マシンに必要なセットアップを行ってください。

[GeneXus Server 要件](#)

1.2 GeneXus Japan Web ページから、GeneXus Server をダウンロードします。

<https://www.genexus.jp/community-and-support-jp/downloads02>

1.3 GeneXus Server のインストール

GeneXus Server を操作詳細 [A\)GeneXus Server のインストール](#) (P26) 従ってインストールします。

1.4 GeneXus Serever ライセンスの取得（請求と取込み）

1.4.1 新規ライセンス請求

次の手順に従ってライセンスを請求してください。

重要：ライセンスの発行は GeneXus 社（ウルグアイ）で行うため、時差の都合上、最短で請求日の翌営業日となります。日本時間の金曜日に請求された場合には、翌月曜日のお渡しとなります。ライセンスの請求は日程に余裕を持って行ってください。

ライセンス請求受付時間

土日祝日・年末年始を除く 9:00～16:00

時間外でのご請求は翌営業日の対応となりますので、予めご了承ください。

重要：GeneXus パートナーから GeneXus Server を購入されたお客様の場合、パートナー宛にライセンス請求を行い、パートナーからライセンスキーを受領してください。

1. 操作詳細 [C\) 請求ファイルの作成](#) (P31) に従って「.gxa」ファイルを作成します。
2. メールアプリケーションを起動し、メールの本文に手順 1 で作成した「.gxa」ファイルを貼り付けします。

メールには、以下の情報をお書き添えください。

➤ **送信するメールの件名：** GeneXus Server17 Un 新規ライセンス請求

(n にはアップグレードバージョンを入れてください。)

➤ **メールの本文：**

- 手順 1 で作成した「.gxa」ファイル (添付)
- 弊社より送付済みのライセンス証書に記載のライセンス番号 (6 桁の数字)
- ライセンス有効期限：202X 年 X 月 X 日
- ご利用になる GeneXus Server のバージョン：「GeneXus Server 17 Un」
- 「GeneXus Server の Web コンソール」「ライセンス」タブの画面のコピー (フル画面)
- 上記画面コピーを取得した日付：202X 年 X 月 X 日
- GxProt.log (既定では C: GeneXus Server17¥GxProt.log) (添付)
- 貴社名
- ご担当者名
- お電話番号

3. ご購入のパートナーまたは keysmaster@genexus.jp にメールで送信します。

これでライセンス請求は完了です。発行されたライセンスキーをメールで受領します。

1.4.2 新規ライセンスの取込み

発行されたライセンスキーをマシンに取り込んで、有効にします。詳細な手順は [D\) ライセンスの取込み](#) (P33) を参照してください。

2. GeneXus Server 複数インスタンスのインストール (マルチインスタンスの設定)

このセクションでは、GeneXus Server のマルチインスタンスについて説明します。

GeneXus Server は、異なる仮想ディレクトリを使用してマルチインスタンスにすることで、1つのマシンに複数インストールして異なるまたは同じバージョンの GeneXus を管理することができます。

重要

ライセンスの互換性がない GeneXus Server X EV3 以下と GX15 以降の GeneXus Server を使用するには、GeneXus Server X EV3 以下向けと GX15 以降向けにライセンスが 2 つ必要です。このようにライセンスを 2 つ発行する場合、GeneXus Server X EV3 以下と GeneXus Server 15 以降の GeneXus Server のインストール先は同一のマシンである必要がありました。しかしながら、GeneXus Server 16 からは、それらのインストール先を別々のマシンにすることが可能です。

2.1 GeneXus Server の追加インストール

[GeneXus Server セットアップ](#)の「インストール」に従って追加のインスタンスをインストールしてください。

3. GeneXus Server のアップグレード

GeneXus Server のアップグレードには、GeneXus Server というソフトウェアのアップグレード、GeneXus Server のライセンスのアップグレード、GeneXus Server で管理しているナレッジベースのアップグレードという 3 つの局面があります。

GeneXus Server のアップグレード（旧 Major、Minor からのバージョンアップ）

GeneXus Server16 をご利用の方が GeneXus Server17 にアップグレードする場合です。[GeneXus Server16](#) のインスタンスを GeneXus Server17 にアップグレードする場合は、[GeneXus Server セットアップ](#)の「更新」に従って、GeneXus Server16 のインスタンスをアップグレードしてください。アップグレード後は後述の[ライセンスのアップグレード](#)が必要です。

[GeneXus Server X EV3 以下のバージョン](#)を 17 にアップグレードする場合、GeneXus Server17 は別のインスタンスとしてインストールされます。[システム要件の確認](#)を行い、[GeneXus Server のインストール](#)(P10)に従って GeneXus Server17 のインストールし、その後 GeneXus Server17 の新規ライセンスを請求してください。

GeneXus Server のアップグレード（Upgrade バージョンアップ）

GeneXus Server17 U1 のインスタンスがあったとします。このインスタンスを GeneXus Server17 U2 にアップグレードするようなケースです。

[GeneXus Server セットアップ](#)の「更新」に従って、各インスタンスをアップグレードしてください。

GeneXus Server X EV3 以下のバージョンでは、「更新」は、最初にインストールしたインスタンスに対してしかできませんでしたが、GeneXus Server15～17 では、インストーラーから、対象インスタンスを選択できます。GeneXus Server17 の Upgrade バージョンをアップグレードした場合、ライセンスのアップグレードは必要ありません。

GeneXus Server のアップグレードに伴う、ナレッジベースのマイグレーション

GeneXus Server X EV3 以下のバージョンから GeneXus Server17 にアップグレードした場合、GeneXus Server で管理しているナレッジベースのアップグレードは、wiki「[GeneXus Server インスタンス間でのナレッジベースの移行](#)」に従って、ナレッジベースのマイグレーションを行います。

4. ライセンスのアップグレード

既に GeneXus Server15 もしくは 16（以下 15/16 と表記）を使用しており、新しく GeneXus Server17 を使用する場合、ライセンスのアップグレードが必要です。下記の手順に従ってライセンスのアップグレードを行ってください。

参考： GeneXus Server15/16 のライセンスがある状態で GeneXus Server17 のライセンス管理画面を開くと、GeneXus Server17 のライセンス請求が行えず、GeneXus Server15/16 ライセンスのアンインストールのみが行える仕様となっております。そのため、まずは GeneXus Server15/16 のライセンスをアンインストールし、その後 GeneXus Server17 のライセンスを新規に請求することでライセンスのアップグレードを行います。

GeneXus Server15/16 のライセンスをアンインストールしてから GeneXus Server17 のライセンスを請求するため、GeneXus Server が使用できない日が最低でも 1 日発生します。この「使用できない日」を許容できる場合は [4.1 通常アップグレード](#) に従ってください。「使用できない日」を回避したい場合は、緊急ライセンスを発行する方法の [4.2 緊急ライセンスを伴うアップグレード](#) に従ってください。

4.1 通常アップグレード

次の手順に従ってライセンスのアップグレード行ってください。こちらの方法は GeneXus Server が使用できない日が「最低 1 日」発生します。

4.1.1 GeneXus Server15/16 ライセンスのアンインストール

[E\) ライセンスのアンインストール](#)（P36）に従って GeneXus Server15/16 のライセンスをアンインストールし、アンインストールのエビデンスを取得します。

- 旧ライセンスをアンインストールした際に GeneXus Server のインストールフォルダ直下に生成されるアンインストールファイル（GXServer.gxa）がエビデンスです。

注意：

ライセンスのアンインストールが必要なのは GeneXus Server15/16 のみです。GeneXus Server Ev2 や Ev3 のライセンスはアンインストールしないでください。

4.1.2 GeneXus Server17 のライセンスの請求

下記の手順で GeneXus Server17 ライセンスを請求します。

重要： ライセンスの発行は GeneXus 社（ウルグアイ）で行うため、時差の都合上、最短で請求日の翌営業日となります。日本時間の金曜日に請求された場合には、翌月曜日のお渡しとなります。ライセンスの請求は日程に余裕を持って行ってください。

ライセンス請求受付時間

土日祝日・年末年始を除く 9:00～16:00

時間外でのご請求は翌営業日の対応となりますので、予めご了承ください。

重要 : GeneXus パートナーから GeneXus Server を購入されたお客様の場合、パートナー宛にライセンス請求を行い、パートナーからライセンスキーを受領してください。

1. [C\) 請求ファイルの作成](#) (P31) に従って GeneXus Server17 の「.gxa」ファイルを作成します。
2. メールアプリケーションを起動し、メールの本文に手順 1 で作成した「.gxa」ファイルを貼り付けします。

メールには、以下の情報をお書き添えください。

➤ **送信するメールの件名** : GeneXus Server17Un アップグレードライセンス請求

(n にはアップグレードバージョンを入れてください。)

➤ **メールの本文** :

- アンインストールエビデンスと「.gxa」ファイル (添付)
- 弊社より送付済みのライセンス証書に記載のライセンス番号 (6 桁の数字)
- ライセンス有効期限 : 20XX 年 X 月 X 日
- 貴社名
- ご担当者名
- お電話番号

3. ご購入のパートナーまたは keysmaster@genexus.jp にメールで送信します。

これでライセンスの請求は完了です。発行されたライセンスは、ライセンス請求ユーザーのメールアドレスに送信されます。

4.1.3 GeneXus Server17 ライセンスを取り込み

発行されたライセンスキーをマシンに取り込んで有効にします。詳細な手順は [D\)ライセンスの取込み](#) (P33) を参照してください。

4.2 緊急ライセンスを伴うアップグレード

GeneXus Server15/16 のライセンスをアンインストールしてから GeneXus Server17 ライセンスを請求する都合上、GeneXus Server が使用できない日が最低でも 1 日発生します。

「使用できない日」が発生する理由は、GeneXus Server15/16 ライセンスがあると GeneXus Server17 の

ライセンス管理画面にて 15/16 ライセンスのアンインストールが求められ、請求ファイル作成やライセンスの取り込みができないためです。そのため、17 ライセンスの請求と取り込みのタイミングだけ 15/16 ライセンスが無い状態にし、請求と取り込みのタイミング以外は 15/16 の緊急ライセンスを使用します。

下記の手順に従い 17 ライセンスの請求及び 15/16 緊急ライセンスの請求を行ってください。

<手順>

4.2.1 GeneXus Server15/16 ライセンスをアンインストール

[E\) ライセンスのアンインストール](#) (P36) に従って GeneXus Server15/16 のライセンスをアンインストールし、アンインストールのエビデンスを取得します。

- 旧ライセンスをアンインストールした際に GeneXus Server のインストールフォルダ直下に生成されるアンインストールファイル (GXServer.gxa) がエビデンスです。

注意：

ライセンスのアンインストールが必要なのは GeneXus Server15/16 のみです。GeneXus Server Ev2 や Ev3 のライセンスはアンインストールしないでください。

4.2.2 GeneXus Server 17 および緊急ライセンスの請求

重要：ライセンスの発行は GeneXus 社（ウルグアイ）で行うため、時差の都合上、最短で請求日の翌営業日となります。日本時間の金曜日に請求された場合には、翌月曜日のお渡しとなります。ライセンスの請求は日程に余裕を持って行ってください。

ライセンス請求受付時間

土日祝日・年末年始を除く 9:00～16:00

時間外でのご請求は翌営業日の対応となりますので、予めご了承ください。

重要：GeneXus パートナーから GeneXus Server を購入されたお客様の場合、パートナー宛にライセンス請求を行い、パートナーからライセンスキーを受領してください。

- ① [C\) 請求ファイルの作成](#) (P31) に従って GeneXus Server17 と 15/16 の「.gxa」ファイルを作成します。
「.gxa」ファイルは「17」と「15/16」が区別できるようにファイル名を変更してください。
- ② メールアプリケーションを起動し、メールの本文に①で作成した「.gxa」ファイルを 2 つ貼り付けします。

メールには、**緊急ライセンスを希望する旨**と以下の情報をお書き添えください。

➤ **送信するメールの件名：**

＜緊急ライセンス希望＞ GeneXus Server17Un アップグレードライセンス請求

(n にはアップグレードバージョンを入れてください。)

➤ **メールの本文：**

- 緊急ライセンス希望
- GeneXus Server15/16 のアンインストールエビデンスと「.gxa」ファイル（添付）
- GeneXus Server17 の「.gxa」ファイル（添付）
- 弊社より送付済みのライセンス証書に記載のライセンス番号（6 桁の数字）
- ライセンス有効期限：20XX 年 X 月 X 日
- 貴社名
- ご担当者名
- お電話番号

③ ご購入のパートナーまたは keysmaster@genexus.jp にメールで送信します。

これでライセンスの請求は完了です。先に 15/16 の緊急ライセンスが発行され、後日 17 ライセンスが発行されます。発行されたライセンスは、ライセンス請求ユーザーのメールアドレスに送信されます。

4.2.3 GeneXus Server15/16 の緊急ライセンスの取り込み

発行された GeneXus Server15/16 の緊急ライセンスをマシンに取り込んで有効にします。取り込み作業は GeneXus Server15/16 にて行います。詳細な手順は [D\)ライセンスの取込み](#)（P33）を参照してください。

4.2.4 緊急ライセンスのアンインストール

GeneXus Server17 ライセンスをパートナーまたは弊社から受領したら、GeneXus Server15/16 の緊急ライセンスをアンインストールします。ライセンスのアンインストールは GeneXus Server15/16 にて行います。詳細な手順は [E\) ライセンスのアンインストール](#)（P36）を参照してください。エビデンスの取得は不要です。

4.2.5 GeneXus Server17 ライセンスを取り込み

発行された GeneXus Server17 ライセンスをマシンに取り込んで有効にします。詳細な手順は [D\)ライセンスの取込み](#)（P33）を参照してください。

5. ライセンスの継続

このセクションでは、ライセンスの継続更新について説明します。

5.1 継続ライセンスの取得（請求と取込み）

5.1.1 継続ライセンス請求

次の手順でライセンス請求を行ってください。

重要：ライセンスの発行は GeneXus 社（ウルグアイ）で行うため、時差の都合上、最短で請求日の翌営業日となります。日本時間の金曜日に請求された場合には、翌月曜日のお渡しとなります。

ライセンスの請求は日程に余裕を持って行ってください。

ライセンス請求受付時間

土日祝日・年末年始を除く 9:00～16:00

時間外でのご請求は翌営業日の対応となりますので、予めご了承ください。

重要：GeneXus パートナーから GeneXus Server を購入されたお客様の場合、「.gxa」ファイルをパートナー宛に送信し、パートナーからライセンスキーを受領してください。

重要：ライセンスを請求するときと、ライセンスキーを取込むときの「ライセンス状態」は同じである必要があります。「ライセンス状態」が異なると、ライセンスキーが取込めなくなります。有効日数が残っている「有効」の状態ではライセンスキーを取込めるように、余裕をもって残り日数が5営業日以上ある時点で請求を行ってください。

やむを得ず残り日数が「1日」になってしまった場合は、ライセンス取込み時点で「ライセンス状態」が「無効」が変わってしまえばライセンスキーが取り込めなくなってしまうので、その場合は、ライセンスをアンインストールしてからライセンス請求してください。

アンインストールの手順は、詳細手順 [E\) ライセンスのアンインストール](#) (P36) にしたがってください。

1. [C\) 請求ファイルの作成](#) (P31) に従って「.gxa」ファイルを作成します。

3. メールアプリケーションを起動し、メールの本文に手順 1 で作成した「.gxa」ファイルを貼り付けします。

メールには、以下の情報をお書き添えください。

- **送信するメールの件名** : GeneXus Server17Un 継続ライセンス請求

(n にはアップグレードバージョンを入れてください。)

- **メールの本文** :

- 手順 1 で取得した「.gxa」ファイル (添付)
- 弊社より送付済みのライセンス証書に記載のライセンス番号 (6 桁の数字)
- ライセンス有効期限 : 202X 年 X 月 X 日
- ご利用になられている GeneXus Server のバージョン :
「GeneXus Server17 Upgrade○」
- 「GeneXus Server Web コンソール」 「ライセンス」 タブの画面のコピー
(残日数が分かるように)
- 上記画面コピーを取得した日付 : 202X 年 X 月 X 日
- GxProt.log (デフォルトでは C: GeneXus Server17¥GxProt.log)
- 貴社名
- ご担当者名
- お電話番号

4. ご購入のパートナーまたは keysmaster@genexus.jp にメールで送信します。

ライセンスキーは、ライセンス請求ユーザーのメールアドレスに送信されます。

これでライセンス請求は完了です。

5.1.2 継続ライセンスの取込み

請求したライセンスキーをマシンに取り込んで、有効にします。wiki ページ 操作詳細 [D\)ライセンスの取込み](#) (P33) を参照してください。

6. マシンの変更によるライセンスの移行

GeneXus のライセンスマネージャーと異なり、GeneXus Server コンソールにはライセンスを移行する機能がありません。マシンの変更によりライセンスを移行させたい場合は、移行先のマシンにライセンスまでセットアップしたあとに、旧マシンのライセンスをアンインストールしてください。

6.1 移行先マシンのセットアップ

[1. GeneXus Server の新規利用](#) (P10) の手順に従って、マシンをセットアップし、ライセンスの取得をしてください。ライセンス請求の際のメール送信は、以下の情報をお書き添えください。

➤ **送信するメールの件名** : GeneXus Server17 Un マシン変更によるライセンス請求

(n にはアップグレードバージョンを入れてください。)

➤ **メールの本文** :

- 「.gxa」ファイル (添付)
- 弊社より送付済みのライセンス証書に記載のライセンス番号 (6 桁の数字)
- ライセンス有効期限 : 202X 年 X 月 X 日
- ご利用になられている GeneXus Server のバージョン :
「GeneXus Server 17 Upgrade○」
- 「GeneXusServer Web コンソール」「ライセンス」タブの画面のコピー
(残日数が分かるように)
- 上記画面コピーを取得した日付 : 202X 年 X 月 X
- GxProt.log (既定では C: GeneXus Server16GxProt.log) (添付)
- 貴社名
- ご担当者名
- お電話番号
- 旧マシンのライセンスアンインストール予定日

ご購入のパートナーまたは keysmaster@genexus.jp にメールで送信してください。

6.2 アンインストールのエビデンスの取得

1. ご連絡いただいた日程で、旧ライセンスをアンインストールします。

操作詳細 [E\)ライセンスのアンインストール](#) (P36) にしたがってください。

2. エビデンスを準備します。

- 旧ライセンスをアンインストールした際に GeneXus Server のインストールフォルダ直下に生成されるアンインストールファイル（GXServer.gxa）がエビデンスです。

3. ライセンス請求の際のメール送信は、以下の情報をお書き添えください。

➤ 送信するメールの件名：

GeneXus Server 17 Un マシン変更によるアンインストールのエビデンス送付
（n にはアップグレードバージョンを入れてください。）

➤ メール本文：

上記エビデンスを添付して、ご購入のパートナーまたは keysmaster@genexus.jp にメールで送信してください。

7. ライセンスのトラブルシューティング

トラブル等によりライセンスが停止してしまう場合があります。その場合は、エビデンスからライセンスの停止が確認できましたらライセンスを再発行します。

参考：ライセンスが停止中になる主な原因

<禁止事項の実施>

- ・ GeneXus Server がインストールされているマシンのシステム日付の変更
- ・ レジストリー情報の修正

<不可避事項>

- ・ OS のアップデートによるシステムの変更、OS の不具合
- ・ GeneXus Server の Protect.dll の不具合

次の手順でライセンスの再発行を依頼してください

7.1 ライセンス停止のエビデンスの取得

旧ライセンスが停止したことを証明するエビデンスが必要です。

- 添付ファイル：GxProt.log ファイル

GeneXus Server がインストールされているフォルダの直下にある GxProt.log ファイルには、ライセンスの操作が記録されますので、GxProt.log ファイルを用意してください。

(既定では C: GeneXus Server17¥GxProt.log)

- 「GeneXusServer Web コンソール」 「ライセンス」 タブの画面のコピー
(停止したことが分かるように)
- 上記画面コピーを取得した日付：202X 年 X 月 X 日

重要：エビデンスが提出できない場合：

マシンの故障等でエビデンスを作成できない場合は、「ライセンス再発行依頼書」を提出いただきます。

提出後にライセンスの再請求を行っていただきます。

1. 弊社に「ライセンス再発行依頼書」を請求
2. 必要事項を明記のうえ、社判を押印してから弊社まで郵送してください。
3. 再発行依頼書の確認後に弊社より連絡を差し上げますので、新しいマシンからライセンスの請求手続きを行ってください。

7.2 ライセンスの再請求か緊急ライセンスかの選択

ライセンスのトラブルシューティングで、ライセンスを再取得する場合は、以下の2つの方法から選択してください。

- ① ライセンスの再請求を行う。

「ライセンスの再請求」では、最短でもライセンスキーの受取りが翌日になってしまいます。

- ② 緊急ライセンスを請求してから再請求を行う。

「緊急ライセンス」は、即日発行しますが有効期間が15日間です。有効期間内に緊急ライセンスをアンインストールして、もう一度ライセンスの再申請を行うか、有効期間が切れてから再申請を行う必要があります。（緊急ライセンスに対して継続ライセンスは発行できません。）

請求の当日に、ライセンスが使えないことが許容できる場合は①、許容できないので、先々15日間の間で調整する場合は②を選択ください。同一マシンから申請する場合は、はいずれにしても使えない日が1日発生してしまいます。

7.3 ライセンスの請求

1. [C\) 請求ファイルの作成](#) (P31) に従って「.gxa」ファイルを作成します。

2. ライセンス再発行の依頼メールを作成し、keysmaster@genexus.jp に送信する

- **送信するメールの件名：** GeneXus Server17Un ライセンス再発行依頼

GeneXus Server17Un 緊急ライセンス発行依頼

(n にはアップグレードバージョンを入れてください。)

- **メールの本文：**

<エビデンス>

- 添付ファイル：GxProt.log ファイル（上記手順1を参照してください）。
- 「GeneXusServer Web コンソール」「ライセンス」タブの画面のコピー（アンインストールコード）
- 上記画面コピーを取得した日付：202X年X月X日
上記取得できない場合は「ライセンス再発行依頼書提出済」と記載ください。

<再申請のための情報>

- 「.gxa」ファイル
- 弊社より送付済みのライセンス証書に記載のライセンス番号（6桁の数字）
- ライセンス有効期限：202X年X月X日
- ご利用になられている GeneXus Server のバージョン：
「GeneXus Server17 Upgrade○」

- 貴社名
- ご担当者名
- お電話番号

7.4 再発行ライセンスの取込み

請求したライセンスキーをマシンに取り込んで、有効にします。

操作詳細。 [D\)ライセンスの取込み](#) (P33) に従ってください。

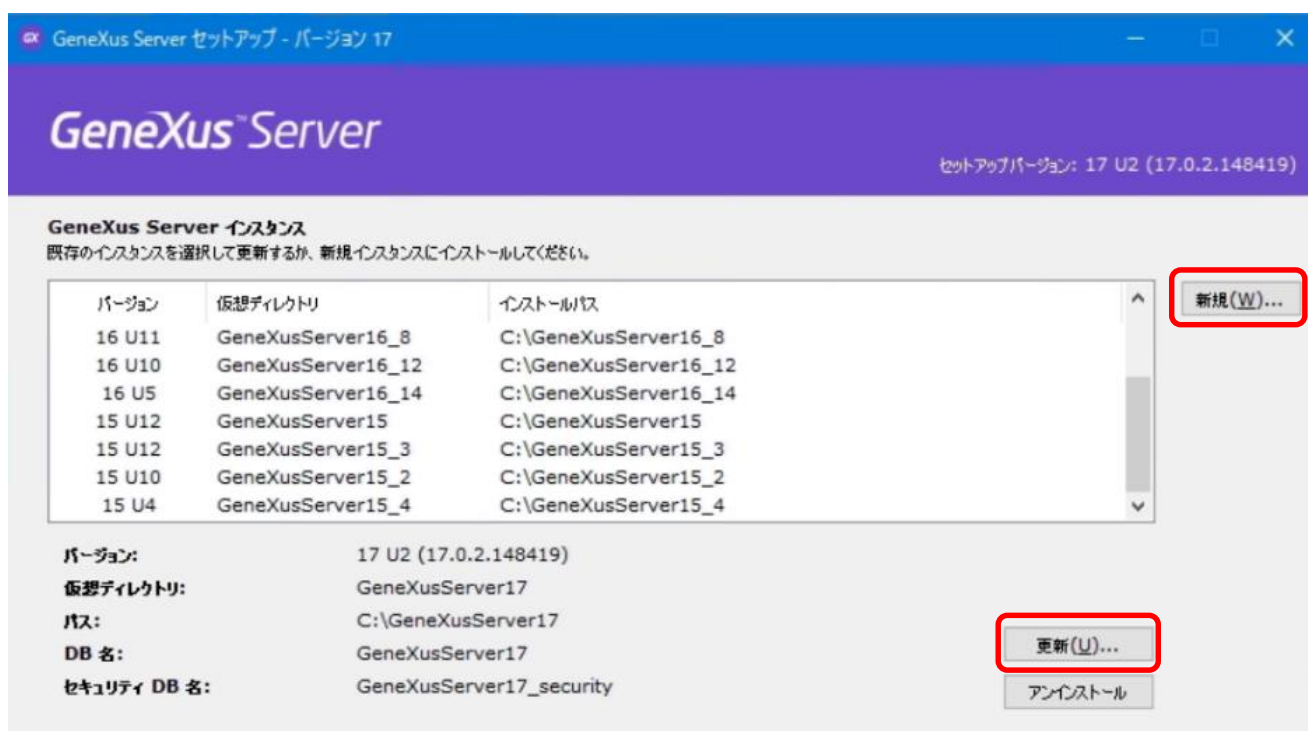
操作詳細

A) GeneXus Server のインストール

このセクションでは、GeneXus Server17 をインストールするための手順について説明します。

セットアップ プログラム(「genexusserver17un.exe」といった名称です) を右クリックして「**管理者として実行**」を選択します。

既に GeneXus Server 15~17 がインストールされている場合、次のようにインストール済みのインスタンスが画面に表示されます。



1. インスタンスを新規にインストールする場合は「**新規**」を、インスタンスを更新する場合は対象のインスタンスを選択して「**更新**」をクリックします。

「新規」をクリックした場合、次の画面に進みます。

「更新」をクリックした場合、インストールが始まります。

2. 次の画面でインスタンス名とインストールパスを指定して「次へ」をクリックします。

GeneXus™ Server

インスタンス名:

GeneXusServer17

製品のインストールパス:

C:\GeneXusServer17

[次へ]をクリックすることで[使用許諾書の条項に同意します。](#)

キャンセル

次へ

3. 「SQL サーバー接続設定」画面が表示されますので、SQLserver の「**サーバー名**」を入力します。
「**Windows 認証**」または「**サーバー認証※**」のいずれかのオプションを選択して「**インストール**」をクリックします。
※「**サーバー認証**」を選択すると、「**ユーザー名**」と「**パスワード**」の入力フィールドが表示されますので、適切なユーザー名とパスワードを入力してください。

GeneXusTM Server

SQL Server 接続設定

サーバー名:

☒ Windows 認証

☐ SQL 認証

戻る インストール

4. 次の画面が表示されればインストールは完了です。



B) GeneXus Server へのログイン

ライセンスの管理は GeneXus Server の Web コンソール画面から行います。

※GeneXus Server15 から、GeneXus Server の Web コンソールへのログインが必須になりました。

1. 右側ログイン画面「**認証タイプ**」のプルダウンメニューから「**ローカル**」を選択し、「**ユーザー名**」フィールドに「**admin**」と入力し、「**パスワード**」フィールドに「**admin123**」と入力します。

参考 : GeneXus Server にライセンスを取り込む前は、「**admin**」でしかログインができません。



GeneXusTM Server
Team development for GeneXus

認証タイプ:
ローカル

ユーザー名:
admin

パスワード:
●●●●●●●●

☐ ログイン状態を維持する

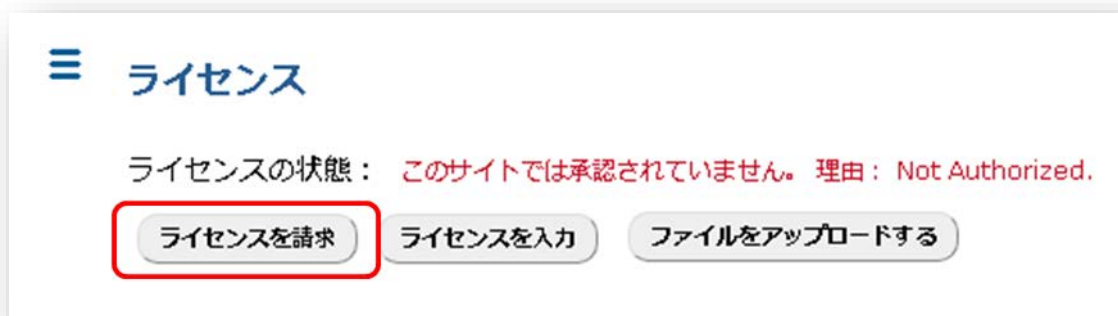
ログイン

C) 請求ファイルの作成

1. [B\) GeneXus Server へログイン](#) (P30) 後、左側のダッシュボードから「ライセンス」をクリックしてライセンスの管理画面を表示させます。ライセンスが無い場合は、ダッシュボードは表示されず、ライセンスの管理画面が表示されます。



「ライセンスを請求」ボタンをクリックします。



2. 請求するライセンスタイプと請求方法が表示されます。

「オフライン」をクリックすると「.gxa」ファイルがダウンロードされます。この「.gxa」ファイルが請求ファイルになります。



D) ライセンス取込み

ライセンスの管理画面を開き、「ファイルをアップロードする」をクリックして、メールに添付されたライセンス（.gxa ファイル）を選択します。



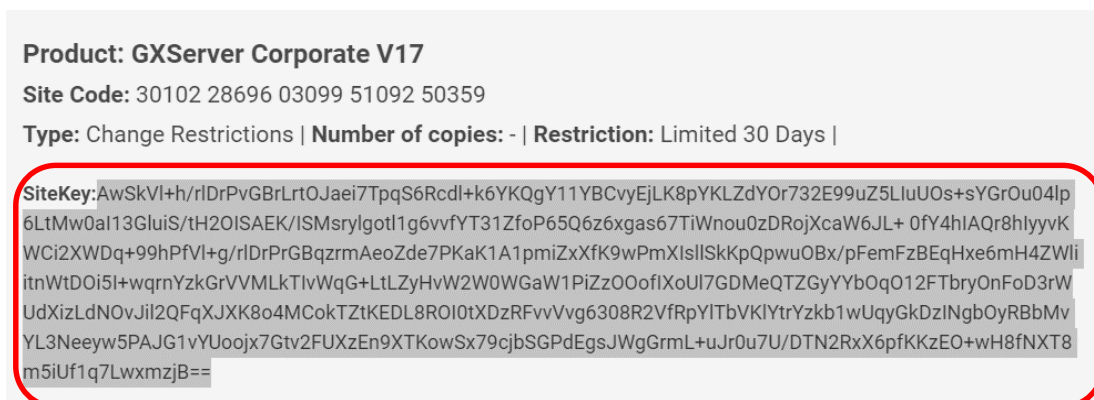
次の図のように「承認済み」が表示されれば、ライセンスの取り込みは完了です。



もし、上述の「ファイルをアップロード」でライセンスの取り込みができない場合（ボタンが反応しない、ブラウザがフリーズするなど）、下記の「手動承認」をお試しく下さい。

・ライセンスを手動承認する方法

1. ライセンスが添付されたメールを開き、メールの下部にある SiteKey を選択しコピーします。



注意：ライセンス（.gxa ファイル）をテキストエディターで開くと上図のような SiteKey がありますが、それは手動承認では使用しません。

2. ライセンスの管理画面で「ライセンスを入力」をクリックします。



3. 入力フィールドが表示されますので、コピーした SiteKey を貼り付けます。

ライセンス

ライセンスの状態： このサイトでは承認されていません。理由： Not Authorized.

「オーソライズ」をクリックします。

ライセンス

ライセンスの状態： このサイトでは承認されていません。理由： Not Authorized.

A5GMVl+h/rIDrPvGBrPrtOJaei7Tvr0WyyHEEVrQ050w0VMBCvyE
jLK8pYKLZdYOr732E99uZ5LIuUOs+sYGrOu04lp6LtMw0aI13Glu
iS/tH20ISAEK/ISMsrylgot11g6vvyfYT31ZfoP65Q6z6xgas67Tj
Wnou0zDRoiXcaW6JL+QfY4hIAQr8hIyyvKWCi2XWDq+99hPfVl+g
/rIDrPrGBqzr+ALbZVeao6bRyo
pp6abyptxPNU4RrvJ5r7Y0f9w/qbulcI20FcckiTgyoaUXr4vMxU
rUmyvVIyDoASAcj8/EkYCJedcQbLgKn06nRXeUKHDZ0zRGPFK02L
X2f0100kbhS15i4dk2w4N6yCs2Fi5kFyeFPkE8uP/TqRJxSyVD+I
bIXJF80QULcOQU37GwMmop5eq1zsaBlo9v8tjJZSqsHFHEFQrGu
nNS3PGs7cZ0FD2SeLF447UE8xiPDxhC8741v2DfRaxQszJVbbYok
U/4PoCvIznQZqJcwXAvctSqsV61BfgQXwNmQ7KyAZZGywVlkzRBg
XuIYwZPJHbb+Qz5R2yiQJ0ZfMeWfjVZ/==

E) ライセンスのアンインストール

1. ライセンスの管理画面を開き、「アンインストール」をクリックします。

GXserver License

ライセンスの状態: **GeneXus Server** コーポレート - ユーザー数無制限 (V17): 承認済み。
ユーザー数無制限。開始日: 21/03/15 00:00. 残存日数: 38

ライセンスを請求ライセンスを入力ファイルをアップロードするアンインストール

※ライセンスのアップグレードのために GeneXus Server16 または 15 ライセンスをアンインストールする場合、ライセンスの管理画面では下図が表示されます。

GXserver License

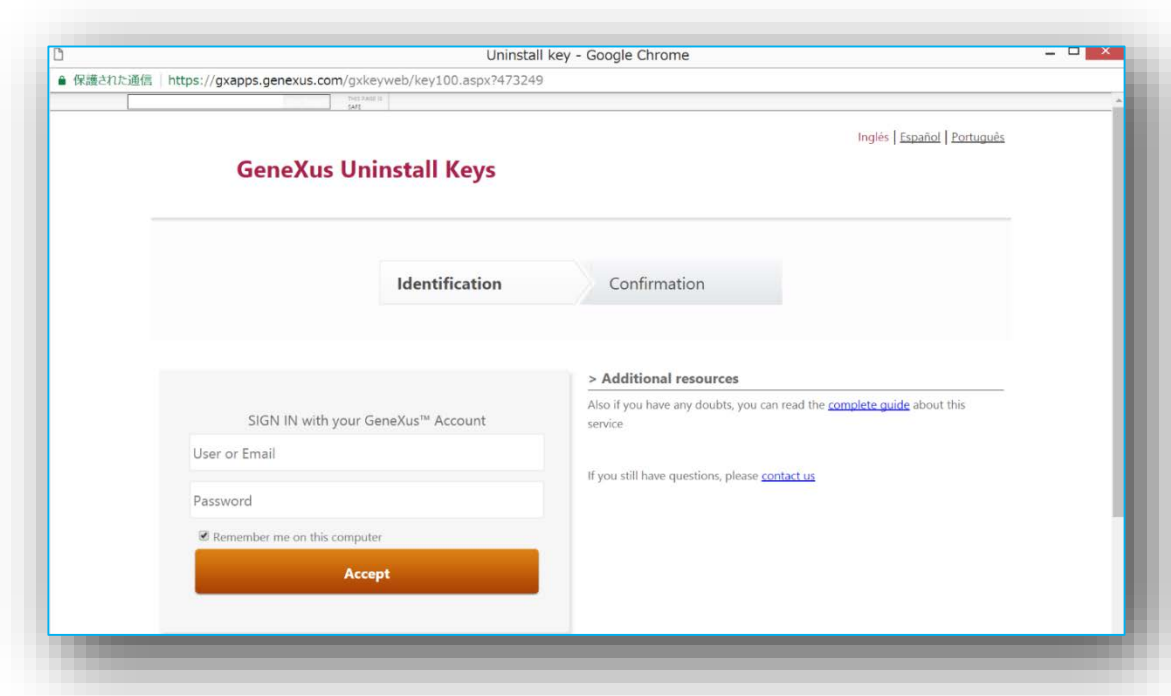
ライセンスの状態: このサイトでは承認されていません。理由: このバージョンには正規ライセンスが必要です
In order to request a license, this license needs to be uninstalled.

GeneXus Server コーポレート - ユーザー数無制限 (V16) アンインストール

2. 「確認」をクリックします。



参考：「確認」をクリックした後、既定のブラウザが開き（起動していない場合）、下図の「**GeneXus Uninstall Keys**」という名前のページが表示されたら、このページの内容は無視してブラウザを閉じてください。



GXserver License

ライセンスの状態： このサイトでは承認されていません。 理由： Not Authorized.

ライセンスを請求

ライセンスを入力

ファイルをアップロードする

GeneXus Server コーポレート - ユーザー数無制限 (V17) uninstall code: '16324 38698 27612 05847 27331 43450 07541 34558'

4. 上図の赤枠のように「ライセンスの状態： このサイトでは承認されていません」と表示されればライセンスのアンインストールは完了です。

※ 以前のインストールガイドでは、上図の青枠「uninstall code」が表示された画面のスクリーンショットをアンインストールのエビデンスとしていましたが、後述のアンインストールファイルをスクリーンショットの代わりのエビデンスとしてください。

アンインストールファイルの取得：

ライセンスのアンインストール後、アンインストールファイル（GXServer.gxa）が GeneXus Server のインストールフォルダ直下に生成されます。このファイルがエビデンスの一つとなります。

参考：アンインストールファイルは生成される度に GXServer.gxa、GXServer_1.gxa、GXServer.gxa_2... というように、末尾に番号が追加された状態で生成されます。そのため、今までに何度かライセンスのアンインストールを行っていると、複数のアンインストールファイルが GeneXus Server のインストールフォルダ直下に保存されますので、最新のアンインストールファイルのみをエビデンスとしてください。

※もしアンインストールファイルが生成されていない場合、GeneXus Server のインストールフォルダ直下にある「GxProt.log」を代替のエビデンスとしてください。